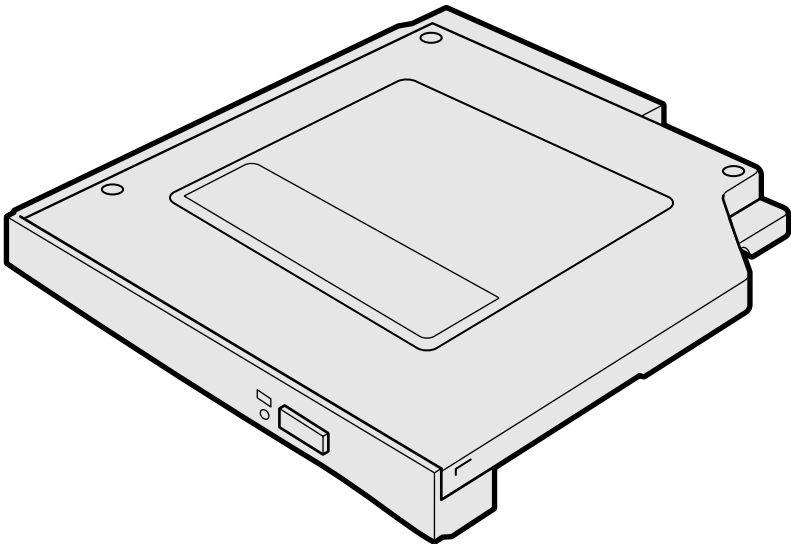


TOSHIBA

DVDマルチドライブ 取扱説明書



保証書別添付

この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

安心してお使いいただくために



お買い求めいただいた製品（本製品）のご使用前に、必ず取扱説明書をお読みください。

本書には、ご使用の際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。

本書は、必要なときにすぐに参照できるように、お手元に置いてご使用ください。お子様がお使いになるときは、保護者のかたが取扱説明書の中身をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

本書では、本製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

表示の説明




表示	表示の意味
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の例

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘ は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	● は、指示する行為の強制（必ずやること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	△ は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震、雷、当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等について、当社は一切責任を負いません。
- 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 記憶装置（CD、DVD）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。

- 本製品の保証条件は、同梱されている当社所定の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

もくじ

安心してお使いいただくために

もくじ	2
安全上のご注意	3
ご使用上のお願い	5
はじめに	9
1 同梱品の確認	11
2 各部の名称	12
3 取り付け／取りはずし	13
① マルチスタイルベイ機器について	13
② 本製品の差し替え	13
4 DVD マルチドライブとは	19
① CD / DVD について	19
② DVD-RAM を使うときは	24
5 音楽 CD、DVD-Video を再生する	31
① 音楽 CD を聴く	31
② DVD-Video を観る	32
③ ボタンやリモコンで操作する	34
6 音楽 CD やデータ CD / DVD を作る	36
① Drag'n Drop CD を使うために	36
② Drag'n Drop CD を使う	41
7 映像を編集する	43
① 映像編集の流れ	43
② アプリケーションをインストールする	44
③ 映像を編集する	47
④ 編集した映像を書き込む	48
8 困ったときは	54
9 廃棄について	57
10 仕様	58
11 技術基準適合について	59

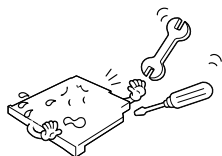
安全上のご注意

●本製品の取り扱いについて

⚠ 警告

分解・改造・修理しないこと

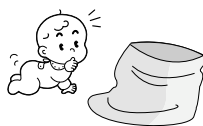
火災・感電・故障・ケガのおそれがあります。点検・修理は、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに依頼してください。



分解禁止

ビニール袋などの包装材料は幼児の手の届かないところに保管すること

口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息のおそれがあります。



指示

取りはずした小さな部品（カバー、キャップ、ネジなど）は、幼児の手の届かないところに置くこと

誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



指示

⚠ 注意

本製品の上または近くに「花びん・コップ」などの水の入った容器や、「ステーブル・クリップ」などの金属物を置かないこと

異物（金属片・液体など）が本製品の内部に入ると火災・感電の原因となります。

異物が内部に入った場合は、すぐにパソコン本体の電源スイッチを切り、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してからバッテリーパックは取りはずしてください。

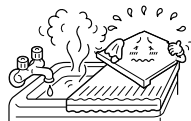
点検・修理は、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに依頼してください。



禁止

ふる場、シャワーなどの水がかかったり、湿度の高い場所あるいは屋外などの雨や霧が入り込む場所では使用しないこと

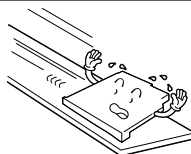
火災・感電の原因となります。



水場での禁止

ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かないこと

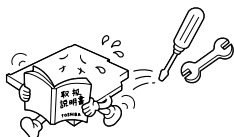
落ちたり、たおれたりしてケガをするおそれがあります。



禁止

本製品を接続したり、取りはずしたりする場合は、取扱説明書に記述されてあるところ以外は絶対に開けないこと

火災・やけど・感電のおそれがあります。



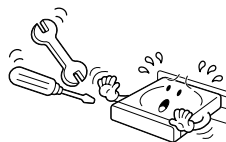
分解禁止

● CD / DVD の取り扱いについて

⚠ 警告

DVD マルチドライブの部分は、絶対に分解しないこと

内部にはレーザー光線が使用されており、人体への悪影響（目の痛みなど）をおよぼすおそれがあります。



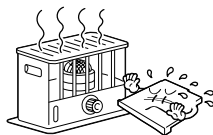
指示

ご使用上のお願い

●本製品の使用環境、保管場所および取り扱いについて

直射日光が当たる場所、しめ切った車の中、暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。

故障・誤動作・記憶内容の消失の原因となります。



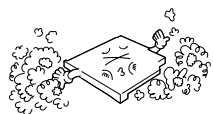
極端に低温になるところに置かないでください。

故障・誤動作・記憶内容の消失の原因となります。



ほこりの多いところに置かないでください。

故障・誤動作・記憶内容の消失の原因となります。内部にほこりが入ったときは、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。



急激な温度変化を与えないでください。

結露が生じ、故障・誤動作・記憶内容の消失の原因となります。



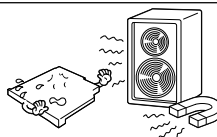
雷が鳴っているときは使用しないでください。

故障・誤動作・記憶内容の消失の原因となります。



磁石、スピーカ、テレビ、磁気ブレスレットなど磁気を発するものの近くで使用しないでください。

故障・誤動作・記憶内容の消失の原因となります。



製品の上に物を乗せたり、物を落としたりしないでください。

破損・故障の原因となります。



お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。

変質・変形・変色の原因となります。



● CD / DVD の使用環境、保管場所および取り扱いについて

CD / DVD などを取り扱うときは、次の点を守ってください。

- ・折り曲げたり、表面を傷つけたりしない
- ・直射日光に当たらない ・ データ表面を持たない
- ・ 極端に暑かったり寒かったりする場所に置かない
- ・ ペンジン、シンナーなどの薬品を使用しない



守らないと、ドライブの故障やデータが読み取れなくなる原因となります。

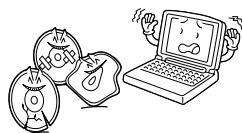
次の作業を行うときはパソコン本体に AC アダプタを接続してご使用ください。

- ・ CD / DVD に書き込みを行うとき
 - ・ DVD-Videoの再生を行うとき
- バッテリー切れによる書き込み不良やコマ落ちが防げます。



ひび割れ、変型、または接着剤などで補修した CD / DVD は使用しないでください。

CD / DVD はパソコン本体内で高速に回転しますので、飛び散ってケガの原因となることがあります。



DVD マルチドライブのトレイを閉める場合は、指をはさまれないように注意してください。

ケガのおそれがあります。



用途制限について

● 本製品は人の生命に直接関わる装置等^(*1)を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

* 1：人の生命に直接関わる装置等とは、以下のようなものを言います。

- ・ 生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
- ・ 有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置
- ・ 消防法、建築基準法など各種法律を遵守して設置しなければならない装置 など

● 本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム^(*2)に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮^(*3)が必要となるので、当社営業窓口にご相談ください。

* 2：人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものを言います。

(原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム)

(集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム)

* 3：特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フル・ブルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することを行います。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

ハードウェアの保証とアフターサービスについて

●修理について

【無料修理（保証修理）】

取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに記載された正常なご使用をされている場合であって、お買い上げ日から保証期間中に故障したときに、保証書に記載の「無料修理規定」に従い、ハードウェアの無料修理をいたします（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）。

【有料修理】

「保証書」に記載の保証期間が終了している場合、または、保証書に記載の「無料修理規定」の範囲外の作業（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）については、有料修理をいたします。

●部品について

【部品の交換について】

保守部品（補修用性能部品）は、機能・性能が同等な新品部品あるいは新品と同等に品質保証された部品（再利用部品）を使用し、故障した部品と交換します。なお、有料修理でユニット修理を適用した場合および無料修理の交換元（取りはずした）部品の所有権は、株式会社東芝または株式会社東芝の認める各保守会社に帰属します。

【保守部品（補修用性能部品）の最低保有期間】

保守部品（補修用性能部品）とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から6年6ヶ月です。

●最新情報について

東芝ホームページ「dynabook.com」では、常に最新のサポート情報を提供しています。定期的に最新情報をご確認ください。





サポート情報：http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

はじめに

このたびは「DVD マルチドライブ」をお買い求めいただき、ありがとうございます。本製品は、パソコン本体のマルチスタイルベイに取り付けて使用します。本書は「DVD マルチドライブ」の取り扱い方法および注意事項について説明しています。お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*1）を負うことが想定されるか、または物的損害（*2）の発生が想定されること”を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 メモ	知っておくと便利な内容を示します。
 参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 … 「 」 他のマニュアルへの参照の場合 … 『 』

*1 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*2 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

用語について

本書では、次のように定義します。

Windows Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。

標準値 パソコン本体購入時の状態で、本製品を取り付けたときのドライブの割り当てを示します。

標準値は次のとおりです。

DVD マルチドライブ E:

※ SD メモリカードをパソコン本体の SD メモリカードスロットに挿入しているときに本製品を取り付けた場合は、ドライブの割り当ては異なります。

記載について

- ・ 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。

Trademarks

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Drag'n Drop CD はイージーシステムズジャパン株式会社と株式会社デジオンの登録商標です。
- ・ MotionDV STUDIO は、松下電器産業株式会社の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

お願い

- ・ 購入時に定められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。

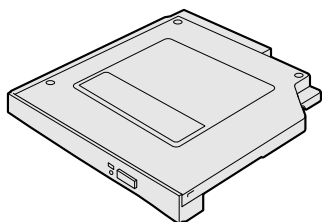
「保証書」は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

1 同梱品の確認

梱包箱から取り出したら、DVD マルチドライブと次の付属品がそろっているか確認してください。

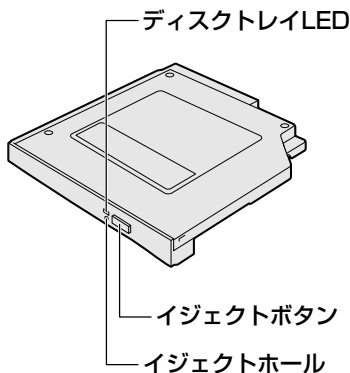
万一、不足しているものがあったり損傷しているものがあるときには、購入した販売店に相談してください。

- DVD マルチドライブ



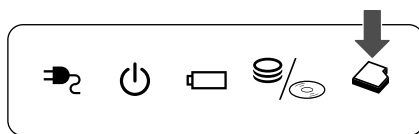
- 「Drag'n Drop CD」 一式
- 「MotionDV STUDIO」 一式
- 取扱説明書（本書）
- 東芝お客様登録カード兼保証書

2 各部の名称



1 DVDマルチドライブに関する表示

パソコン本体の電源が入っている場合、DVD マルチドライブとデータのやり取りをしているときは、パソコン本体のシステムインジケータにあるマルチスタイルベイ LED が点灯します。



参照 システムインジケータ『DynaBook 応用ガイド』

DVD マルチドライブの取り扱いと手入れ

- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。
ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 薬品や殺虫剤などをかけないでください。
- 使用できる環境は次のとおりです。
温度 5 ~ 35℃、湿度 20 ~ 80%
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。
直射日光の当たる場所 / 非常に高温または低温になる場所 / 急激な温度変化のある場所 (結露を防ぐため) / 強い磁気を帯びた場所 (スピーカなどの近く) / ホコリの多い場所 / 振動の激しい場所 / 薬品の充満している場所 / 薬品に触れる場所
- 使用中に本製品が熱くなることがあります。本製品の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。

3 取り付け／取りはずし

1 マルチスタイルベイ機器について

本製品は、マルチスタイルベイ機器の1つです。マルチスタイルベイ機器は、パソコン本体のマルチスタイルベイに取り付けて使用します。

パソコン本体の購入時は、マルチスタイルベイにはウェイトセーバが取り付けられていますので、本製品に差し替えてください。

本製品以外のマルチスタイルベイ機器の詳細については、『マルチスタイルベイ機器に付属の説明書』を確認してください。

⚠ 注意

- マルチスタイルベイにはマルチスタイルベイ機器またはウェイトセーバのいずれかを取り付けてお使いください。
マルチスタイルベイの内部に異物やほこりが入ると、パソコン本体の火災・感電・故障の原因となります。また、内部に触れると感電のおそれがあります。
- マルチスタイルベイ機器には長い間使用していると熱を帯びるものがあります。
マルチスタイルベイ機器を取りはずす際にマルチスタイルベイ機器が熱い場合は、少し時間をおき、冷めてからマルチスタイルベイ機器を取りはずしてください。

2 本製品の差し替え

1 マルチスタイルベイ機器の差し替え

お願い

傷や破損を防ぐため、布などを敷いた安定した台の上にパソコン本体を置いて作業を行ってください。

1 データを保存し、アプリケーションを終了する

2 パソコン本体の電源を切る

▶ 参照 電源の切りかた『DynaBook まずはこれから』

3 パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類をはずす

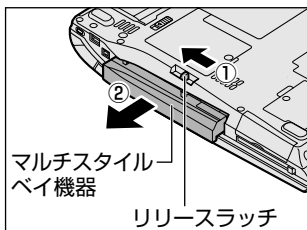
4 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す

5 マルチスタイルベイ用のネジがロック解除の位置（奥側）になっていることを確認する

ロックの位置（手前側）になっている場合は、ロック解除の位置に付け替えてください。

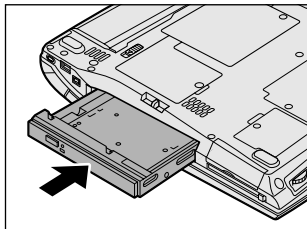
参照 ▶ マルチスタイルベイ機器のロック
「本項 3 マルチスタイルベイ機器のロック」

6 マルチスタイルベイ・リリースラッチをスライドし①、マルチスタイルベイ機器を引き出す②



マルチスタイルベイ・リリースラッチをスライドさせた状態で、機器をしっかりとつかんで水平に引き出してください。

7 マルチスタイルベイに取り付ける機器を裏返し、しっかり差し込む



カチッと音がして、マルチスタイルベイ・リリースラッチがかかるまで差し込んでください。

8 必要であればマルチスタイルベイ機器をロックする


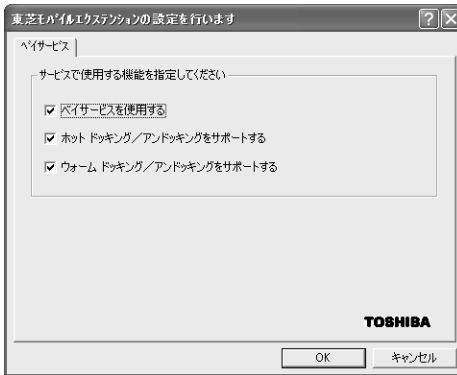
2 東芝モバイルエクステンション

「東芝モバイルエクステンション」の設定で、Windows を起動しているときやスタンバイ、休止状態のときにマルチスタイルベイ機器の取り付け／取りはずしができません。

購入時はどちらの設定も有効になっています。

参照 ▶ スタンバイ、休止状態『DynaBook 応用ガイド』


1 [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする

2 [ 東芝モバイルエクステンション] をクリックする

[バイサービスを使用する] をチェックすると、次の2項目を設定できます。使用する機能をチェックしてください。

ホットドッキング／ アンドッキングをサポートする	Windows を起動した状態でマルチスタイルベイ機器の取り付け／取りはずしができます。
ウォームドッキング／ アンドッキングをサポートする	スタンバイ、休止状態のときにマルチスタイルベイ機器の取り付け／取りはずしができます。

3 [OK] ボタンをクリックする

 注意

- [ウォームドッキング／アンドッキングをサポートする]のチェックをはずした場合は、スタンバイ、休止状態の時にマルチスタイルベイ機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。感電、故障のおそれがあります。


お願い

[ウォームドッキング／アンドッキングをサポートする] のチェックをはずした場合は、スタンバイ、休止状態のときにマルチスタイルベイ機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。データが消失するおそれがあります。

本製品への差し替え

「東芝モバイルエクステンション」で「ホットドッキング／アンドッキングをサポートする」と「ウォームドッキング／アンドッキングをサポートする」のチェックがついているときに、マルチスタイルベイに本製品を取り付ける手順を説明します。これらのチェックをはずしたときは、「本項 1 マルチスタイルベイ機器の差し替え」の手順 1～8 を行ってください。

お願い

- 傷や破損を防ぐため、布などを敷いた安定した台の上にパソコン本体を置いて作業を行ってください。
- マルチスタイルベイ機器を取りはずすときは、マルチスタイルベイ  LED が消灯していることを確認してください。

1 マルチスタイルベイに取り付けられている機器を取りはずす

[ウェイトセーバの取りはずし]

- ① ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す
- ② マルチスタイルベイ用のネジがロック解除の位置（奥側）になっていることを確認する
ロックの位置（手前側）になっている場合は、ロック解除の位置に付け替えてください。
- ③ マルチスタイルベイ・リリースラッチをスライドし、ウェイトセーバを引き出す

[他のマルチスタイルベイ機器の取りはずし]

取りはずし方法については、『マルチスタイルベイ機器に付属の説明書』を確認してください。

2 本製品を裏返し、しっかり差し込む


カチッと音がして、マルチスタイルベイ・リリースラッチがかかるまで差し込んでください。

3 必要であれば本製品をロックする

本製品の取りはずし

「東芝モバイルエクステンション」で「ホットドッキング／アンドッキングをサポートする」と「ウォームドッキング／アンドッキングをサポートする」のチェックがついているときに、マルチスタイルベイから本製品を取りはずす手順を説明します。これらのチェックをはずしたときは、「本項 1 マルチスタイルベイ機器の差し替え」の手順 1～8 を行ってください。



お願い

- 傷や破損を防ぐため、布などを敷いた安定した台の上にパソコン本体を置いて作業を行ってください。
- 取りはずすときは、マルチスタイルベイ  LEDが消灯していることを確認してください。

1 本製品にセットしている、CD / DVD を取り出す

 参照 ▶ CD / DVD の取り出し『DynaBook 基本をマスター』


2 本製品の使用を停止する

- ① 通知領域の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコン () をクリックする
- ② 表示されたメニューから「XXXXXXX DVD-RAM XXXXXX-ドライブ (E:) を安全に取り外します」(標準値) をクリックする
- ③ 「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、「閉じる」ボタン () をクリックする

3 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す

4 マルチスタイルベイ用のネジがロック解除の位置 (奥側) になっていることを確認する

ロックの位置 (手前側) になっている場合は、ロック解除の位置に付け替えてください。

 参照 ▶ マルチスタイルベイ機器のロック
「本項 3 マルチスタイルベイ機器のロック」

- 5 マルチスタイルベイ・リリースラッチをスライドし、本製品を引き出す
- 6 マルチスタイルベイに取り付ける機器を裏返し、しっかり差し込む
カチッと音がして、マルチスタイルベイ・リリースラッチがかかるまで差し込んでください。
- 7 必要であればマルチスタイルベイ機器をロックする

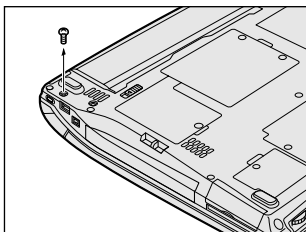
3 マルチスタイルベイ機器のロック

マルチスタイルベイ機器は、ネジでロックすることができます。購入時、ネジはロック解除の位置（奥側）にとめられています。必要に応じてネジをロックの位置（手前側）に付け替えてください。

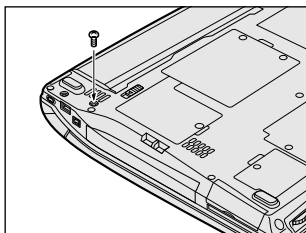
お願い

ネジをはす際は、ネジの種類に合ったドライバを使用してください。

- 1 パソコン本体を裏返し、ネジをマルチスタイルベイのロック解除の位置（奥側）からはす



- 2 手順1ではすしたネジをマルチスタイルベイのロック位置（手前側）にとめる



4 DVD マルチドライブとは

DVD マルチドライブは DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、CD-RW、CD-R の読み込み／書き込み機能を搭載したドライブです。

「安心してお使いいただくために」に、CD / DVD を使用するとき守ってほしいことが記述されています。

CD / DVD を使用する場合は、あらかじめその記述をよく読んで、必ず指示を守ってください。

お願い DVD-Video の再生にあたって

- DVD-Video 再生時は、なるべく AC アダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。バッテリー駆動で再生する場合は「東芝省電力ユーティリティ」で「DVD 再生」モードに設定してください。
- 使用する DVD ディスクのタイトルによっては、コマ落ちしたり、マルチアングルシーンで一時停止ができない場合があります。

1 CD / DVD について

CD、DVD について説明します。

1 使用できるCD

読み込みできる CD は、次の種類です。

- 音楽用 CD
8cm または 12cm の音楽用 CD が聴けます。
- フォト CD
普通のカメラで撮影した写真の画像をデジタル化して記録されています。
- CD-ROM
使用するシステムに適合する ISO 9660 フォーマットのもので使用できます。
- CD エクストラ
記録領域を音楽データ用とパソコンのデータ用に分けられています。それぞれの再生装置で再生できます。
- CD-R
- CD-RW

お願い CD-ROM について

- 本製品にリカバリ CD-ROM、アプリケーション CD-ROM をセットして、パソコン本体を再セットアップすることはできません。
再セットアップする場合、リカバリ CD-ROM、アプリケーション CD-ROM は、パソコン本体に内蔵されているドライブにセットしてください。

▶ 参照 再セットアップ『DynaBook 困ったときは』

- 本製品に「MotionDV STUDIO」CD 一式をセットして、「MotionDV STUDIO」「DVDfunSTUDIO」「DVD-MovieAlbum」「DVD-RAM Driver Software」をインストールすることはできません。インストールする場合、CD はパソコン本体に内蔵されているドライブにセットしてください。

書き込みできる CD は次の種類です。

- CD-R
書き込みは 1 回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。
CD-R の書き込み速度は最大 16 倍速です。16 倍速で書き込むためには 16 倍速の書き込みに対応した CD-R メディアを使用してください。
- CD-RW
CD-RW の書き込み速度は使用するメディアによって異なります。マルチスピード CD-RW メディアの場合、4 倍速が使用できます。High-Speed 対応メディアを使用した場合は最大 8 倍速です。なお、Ultra Speed CD-RW 対応メディアは使用できません。

お願い CD-RW、CD-R について

- CD-RW、CD-R に書き込む際には、次のメーカーの CD-RW、CD-R を使用することを推奨します。

CD-RW (マルチスピード、High-Speed)

：三菱化学 (株)、(株) リコー

CD-R : 太陽誘電 (株)、三井化学 (株)、三菱化学 (株)、(株) リコー、
日立マクセル (株)

これらのメーカー以外の CD-RW、CD-R を使用すると、うまく書き込みができない場合があります。

- CD-R に書き込んだデータの消去はできません。
- CD-RW の消去されたデータを復元することはできません。消去の際は、メディアの内容を十分に確認してから行ってください。
- 書き込み可能なドライブが複数台接続されている際には、書き込み・消去するメディアをセットしたドライブを間違えないよう十分に注意してください。
- DVD マルチドライブは、構造上、メディアの傷、汚れ、ホコリ、チリなどにより読み込み／書き込みができなくなる場合があります。CD-RW、CD-R にデータなどを書き込む際は、メディアの状態をよくご確認ください。

2 使用できるDVD

読み込みできる DVD は、次の種類です。

- DVD-ROM
- DVD-Video (映像再生用です。映画などが収録されています)
- DVD-R
- DVD-RW
- DVD-RAM

書き込みできる DVD は次の種類です。

- DVD-R

書き込みは 1 回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。

DVD-R は、DVD-R for General Ver2.0 規格に準拠したメディアを使用してください。

- DVD-RW

DVD-RW は、DVD-RW Ver1.1 規格に準拠したメディアを使用してください。

- DVD-RAM

DVD-RAM は、DVD-RAM Ver2.0 / 2.1 規格に準拠したメディアを使用してください。

DVD-RAM に書き込むにはドライバのインストールが必要です。

参照

▶ ドライバのインストール

「本節 ②-1 ドライバとフォーマットユーティリティのインストール」

【 DVD-RAMの種類 】

DVD-RAMにはいくつかの種類があります。本製品で使用できる DVD-RAM は次のとおりです。

カートリッジタイプのメディアは、カートリッジから取り出して本製品にセットしてください。両面ディスクで、読み込み／書き込みする面を変更するときは、一度本製品からメディアを取り出し、裏返してセットし直してください。

○：使用できる ×：使用できない

DVD-RAMの種類	本製品の対応
カードリッジなし*	○
カートリッジタイプ（取り出し不可）	×
カートリッジタイプ（取り出し可能）	○

* 一部の家庭用 DVD ビデオレコーダでは再生できない場合があります。

お願い DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R について

- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R に書き込む際には、次のメーカーの DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R を使用することを推奨します。
DVD-RAM : 松下電器産業（株）
DVD-RW : 日本ビクター（株）、TDK（株）
DVD-R : 松下電器産業（株）、太陽誘電（株）

これらのメーカー以外の DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R を使用すると、うまく書き込みができない場合があります。

- DVD-R に書き込んだデータの消去はできません。
- DVD-RW に書き込んだデータの一部を削除することはできません。書き込まれたデータの変更は、まずすべてのデータを消去し、改めて必要なデータだけを再書き込みする必要があります。
- DVD-RW の消去されたデータを復元することはできません。消去の際は、メディアの内容を十分に確認してから行ってください。
- 書き込み可能なドライブが複数台接続されている際には、書き込み・消去するメディアをセットしたドライブを間違えないよう十分に注意してください。
- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R への書き込みでは、ファイルの管理領域なども必要になるため、必ずしもメディアに記載された容量分のデータを書き込むことはできません。

- DVD-RW、DVD-R への書き込みでは、DVD の規格に準拠するため、書き込むデータのサイズが約 1GB に満たない場合にはダミーのデータを加えて、最小 1GB のデータに編集して書き込みます。このため、実際に書き込もうとしたデータが少ないにもかかわらず、書き込み完了までに時間がかかることがあります。
- DVD マルチドライブは、構造上、メディアの傷、汚れ、ホコリ、チリなどにより読み込み／書き込みができなくなる場合があります。DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R にデータなどを書き込む際は、メディアの状態をよくご確認ください。

メモ

- 市販の DVD-RW、DVD-R には業務用メディア (for Authoring) と一般用メディア (for General) があります。業務用メディアはパソコンのドライブでは書き込みすることができません。
一般用メディア (for General) を使用してください。
- 市販の DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R には「for Data」と「for Video」の 2 種類があります。読み込んだ画像を保存する場合や家庭用 DVD ビデオレコーダとの互換性を重視する場合は「for Video」を使用してください。

4 使用できるメディアと対応するアプリケーション

本製品で使用できるメディアと、本製品に付属のアプリケーションで書き込みできるメディアと Video フォーマットは次のとおりです。

○：使用できる ×：使用できない -：対応していない

メディア	CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD-RAM	DVD+R	DVD+RW
読み込み	○	○	○	○	○	×	×
書き込み回数	1 回	繰り返し 書換可能*1	1 回	繰り返し 書換可能*1	繰り返し 書換可能*1	×	×
Drag'n Drop CD *2	○	○	○	○	×	-	-
DVDfunSTUDIO *2	-	-	○	○	×	-	-
DVD-MovieAlbum *2	-	-	×	×	○	×	×
DVD-Video *3	-	-	○	○	×	-	-
DVD-VR (Video Recording 形式)*3	-	-	×	×	○	-	-

* 1：実際に書き換えできる回数は、メディアの状態や書き込み方法により異なります。

* 2：付属のアプリケーションです。

* 3：Video フォーマットです。

2 DVD-RAM を使うときは

1 ドライバとフォーマットユーティリティのインストール

「DVD-RAM Driver Software」をインストールすると、次のことが行えるようになります。

- UDF2.0 形式でフォーマットされた DVD-RAM の読み込みと書き込み
- UDF2.0 / UDF1.5 形式での DVD-RAM のフォーマット
- DVD-RAM のライトプロテクトの設定／解除

初めて DVD-RAM に書き込みをするとき、または初めて DVD-RAM をフォーマットするとき、必ずインストールしてください。

パソコン本体に「DVD-RAM Driver Software」が添付されている場合は、パソコン本体および本製品に添付されている CD のバージョン情報を確認のうえ、新しい方をインストールしてください。

既にインストールしている「DVD-RAM Driver Software」のバージョンの方が古い場合は、アンインストールしてください。その後、新しいバージョンの「DVD-RAM Driver Software」を CD からインストールしてください。

 参照 ▶ アンインストール方法「本項 1 - アンインストール方法」

バージョン情報の確認方法

バージョン番号が大きい方が新しい方です。

【パソコン上で確認する場合】

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [DVD-RAM] → [DVD-RAM ドライバー] → [バージョン情報] をクリックする
- ② バージョン情報を確認する

【CD で確認する場合】

- ① CD をパソコン本体内蔵のドライブにセットする
「Internet Explorer」が起動し、[松下ビデオ編集アプリケーション] 画面が表示されます。
- ② [スタート] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする
[ファイルを開く] 画面が表示されます。

- ③ [開く] に「D:¥Readme.txt」と入力する
または、[参照] ボタンをクリックし、[ファイルの種類] で [すべてのファイル] を選択し、[Readme] を選択して [開く] をクリックしてください。
- ④ [OK] ボタンをクリックする
[Readme-メモ帳] 画面が表示されます。
- ⑤ 「DVD-RAM Driver Software」のバージョン番号を確認する

お願い インストール／アンインストールについて

- 「DVD-RAM Driver Software」のインストールは、パソコン本体に内蔵されているドライブにCDをセットして行ってください。
- アプリケーションのインストールやアンインストールは、アカウントがコンピュータの管理者のユーザで行ってください。
- アプリケーションのインストールやアンインストールを行う前に、必ずデータを保存し、その他のアプリケーションを終了させてください。終了せずに、インストールやアンインストールを行うと、データが消失するおそれがあります。

 **参照** アプリケーションのインストールやアンインストール
『DynaBook 応用ガイド』

インストール方法

1 「DVD-RAM Driver Software」と記載されているCDをパソコン本体内蔵のドライブにセットする

 **参照** CDのセット『DynaBook 基本をマスター』

2 画面の指示に従って「DVD-RAM Driver Software」をインストールする

インストールの途中で [ReadmeXP -メモ帳] 画面が表示されます。DVD-RAM ドライバの制限事項が記載されていますので内容を確認してください。

3 [閉じる] ボタンをクリックする

4 [InstallShield Wizardの完了] 画面で [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] が選択されていることを確認し、[完了] ボタンをクリックする

再起動し、[RAMASST] 画面が表示されます。

5 「はい」 ボタンをクリックする



アンインストール方法

- 1 「コントロールパネル」を開き、「プログラムの追加と削除」をクリックする
- 2 現在インストールされているプログラムの一覧から、「DVD-RAM ドライバー」を選択する
- 3 「変更と削除」ボタンをクリックする
表示されるメッセージに従って操作してください。
再起動をうながすメッセージが表示されたら、「はい、今すぐコンピュータを再起動します」をチェックし、「完了」ボタンをクリックしてください。

2 フォーマットとは

新品の DVD-RAM は、使用する目的にあわせて「フォーマット」という作業が必要です。

フォーマットとは、DVD-RAM にデータの管理情報（ファイルシステム）を記録し、DVD-RAM を使えるようにすることです。

フォーマットされていない DVD-RAM は、フォーマットしてから使用してください。ここでは、ファイルシステムとフォーマット方法について簡単に説明します。詳細は PDF マニュアルを確認してください。

参照 → 「本項 PDF マニュアルの起動方法」

お願い

フォーマットを行うと、その DVD-RAM に保存されていた情報はすべて消去されます。一度使用した DVD-RAM をフォーマットする場合は注意してください。

ファイルシステム

DVD-RAM をフォーマットするときにファイルシステムを選択します。

ファイルシステムは、書き込むデータの種類や書き込み後のメディアを使用する機器に応じて選択します。また、映像データを書き込むときは、書き込み用のアプリケーションによって指定されている場合があります。

購入時に選択できるファイルシステムは「FAT32」のみです。「DVD-RAM Driver Software」をインストールすると「UDF2.0」「UDF1.5」「FAT32」が選択できるようになります。

【UDF2.0】

DVD-VR 形式に対応したファイルシステムです。

家庭用 DVD ビデオレコーダとの互換性があります。

【UDF1.5】

本製品で使用しているシステムの標準の機能で読み込みできるファイルシステムです。このファイルシステムのメディアは、本製品以外の Windows XP / 2000 *¹ がインストールされたパソコン*² でもデータを読み込むことができます。

家庭用 DVD ビデオレコーダとの互換性はありません。

*1 Windows 2000 ... Microsoft® Windows® 2000 Professional operating System 日本語版

*2 DVD-RAM ドライブが搭載されていないパソコンで DVD-RAM を読み込むためには、DVD-RAM の読み込みに対応した DVD ドライブが搭載されている必要があります。

【FAT32】

本製品で使用しているシステムの標準の機能で読み込み／書き込みできるファイルシステムです。このファイルシステムのメディアは、本製品以外の Windows XP / Me *¹ / 98 *² がインストールされたパソコン*³ でもデータを読み込むことができます。

家庭用 DVD ビデオレコーダとの互換性はありません。

*1 Windows Me Microsoft® Windows® Millennium Edition operating System 日本語版

*2 Windows 98 Microsoft® Windows® 98 SECOND Edition operating System 日本語版


*3 DVD-RAM ドライブが搭載されていないパソコンで DVD-RAM を読み込むためには、DVD-RAM の読み込みに対応した DVD ドライブが搭載されている必要があります。

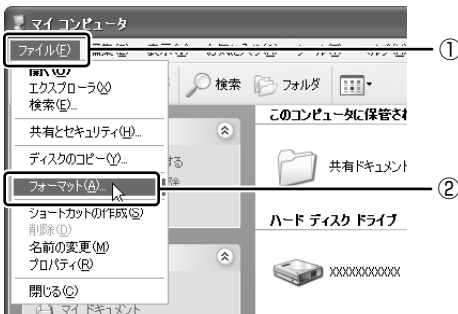
メモ

「DVD-MovieAlbum」で映像データを書き込む際には、DVD-VR 形式で書き込まれるため、「UDF2.0」の DVD-RAM を使用します。

3 フォーマット方法

Windows でのフォーマット方法を簡単に説明します。「DVD-RAM Driver Software」をインストールしてから次の操作を行ってください。

- 1 本製品にフォーマットする DVD-RAM をセットする
- 2 [スタート] → [マイ コンピュータ] をクリックする
[マイ コンピュータ] 画面が表示されます。
- 3 [ DVD-RAM ドライブ (E:)] (標準値) をクリックする
[DVD-RAM ドライブ (E:)] (標準値) が選択され、アイコンの色が反転します。
- 4 メニューバーの [ファイル] をクリックし①、表示されたメニューから [フォーマット] をクリックする②
アイコンを右クリックして表示されるメニューからも選択できます。



[フォーマット DVD-RAM (E:)] (標準値) 画面が表示されます。

- 5 [ドライブ] と [フォーマット種別] を選択する
映像を書き込み、家庭用 DVD ビデオレコーダで再生するための DVD-RAM を作成する場合は、[ユニバーサル ディスク フォーマット (UDF2.0)] を選択してください。
- 6 [開始] ボタンをクリックする
物理フォーマットを行う場合は、[物理フォーマットを実行する] をチェックしてから、[開始] ボタンをクリックしてください。
メッセージが表示されます。

7 メッセージの内容を確認し、[はい] ボタンをクリックする


フォーマットが開始されます。

画面下のバーは進行状況を示しています。物理フォーマットを行う場合、時間がかかります。フォーマットが完了すると、メッセージが表示されます。


8 メッセージの内容を確認し、[はい] ボタンをクリックする

これで、フォーマットは完了です。

他のDVD-RAMも続けてフォーマットする場合は、DVD-RAMを入れ替えて、手順5から実行します。

フォーマットを終了する場合は、[フォーマット DVD-RAM (E:)] (標準値) 画面で [閉じる] ボタン () をクリックしてください。

パソコンで作成したファイルなどの文書データをDVD-RAMにバックアップをとる場合は、[マイコンピュータ] で目的のファイルやフォルダをDVDマルチドライブにコピーしてください。映像データを書き込み、DVD-Videoを作成する場合は、使用するアプリケーションによって操作が異なります。

 参照 ファイルやフォルダのコピー『DynaBook 基本をマスター』

 参照 映像データの書き込み「7-④ 編集した映像を書き込む」

PDF マニュアルの起動方法

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [DVD-RAM] → [DVD-RAM ドライバー] → [DVD-RAM ディスクの使い方] をクリックする

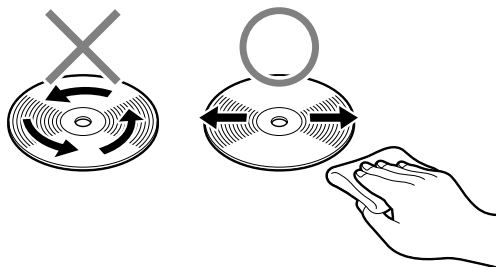
「Acrobat Reader」が起動し、PDF マニュアルが表示されます。

CD / DVD の取り扱いと手入れ

CD / DVD の内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってください。

- 傷、汚れをつけないよう、取り扱いには十分にご注意ください。
- CD / DVD を折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD / DVD を読み込むことができなくなります。
- CD / DVD を直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD / DVD の上に重いものを置かないでください。
- CD / DVD は専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CD / DVD を持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。データ記憶面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CD / DVD のデータ記憶面に文字などを書かないでください。
- CD / DVD が汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。



5 音楽CD、DVD-Videoを再生する

Windows を起動している状態で本製品に音楽 CD、DVD-Video をセットして、音楽を聴いたり、映像を楽しむことができます。

また、パソコン本体のオーディオ／アプリケーションボタンやリモコンで音楽 CD や DVD-Video を操作することもできます。

 参照 「本節 ③ ボタンやリモコンで操作する」

1 音楽 CD を聴く

Windows を起動して音楽 CD を再生するためには、音楽 CD に対応したアプリケーションが必要です。

パソコン本体には次のアプリケーションがインストールされています。

- Windows Media Player

メモ

音楽 CD の再生中に、パソコン本体に振動・衝撃を与えると、音飛びすることがあります。

1 再生方法

1 Windows が起動している状態で、音楽 CD をセットする

[Audio CD (E:)] (標準値) 画面が表示されます。

パソコン本体購入時は、音楽 CD を再生するアプリケーションとして「Windows Media Player」が選択されています。

 参照 CD のセットについて『DynaBook 基本をマスター』

2 [オーディオ CD の再生 Windows Media Player 使用] が選択されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする

「Windows Media Player」が起動します。

「Windows Media Player」の使いかたについては、『DynaBook 応用ガイド』、「Windows Media Player」のヘルプを確認してください。

ヘルプの起動方法

1 「Windows Media Player」を起動後、メニューバーから [ヘルプ] → [トピックの検索] をクリックする

 参照 「Windows Media Player」の問い合わせ先
『DynaBook 困ったときは』

2 DVD-Video を観る


DVD-Video 再生ソフトウェアとして、インタービデオ ウィンディープイディー「InterVideo WinDVD」がパソコン本体に用意されています。

お願い DVD-Video の再生にあたって

- DVD-Video の再生には、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用して DVD-Video を再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。このようなときは、「InterVideo WinDVD」を起動し、DVD-Video を再生してください。
- DVD-Video 再生ソフト「InterVideo WinDVD」は、Video CD、Audio CD、MP3 の再生はサポートしていません。
- DVD-Video 再生時は、なるべく AC アダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。バッテリー駆動で再生する場合は「東芝省電力キューティリティ」で「DVD 再生」モードに設定してください。
- 使用する DVD ディスクのタイトルによっては、コマ落ちしたり、マルチアングルシーンで一時停止ができない場合があります。
- DVD-Video を再生する前に、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中には他のアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。

再生中に、常駐しているプログラムの画面やアイコンなどがちらつく場合は、「InterVideo WinDVD」を最大表示にしてください。

- 外部ディスプレイに表示する場合は、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。また、マルチモニタ（内部液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示）の設定では、外部ディスプレイに表示されません。

 参照 ▶ 表示装置の切り替え『DynaBook 応用ガイド』

その他の注意については、「Readme」に記載しています。


「Readme」の起動は、[スタート] → [すべてのプログラム] → [InterVideo WinDVD] → [readme\st.txt] をクリックしてください。

1 再生方法

メモ

パソコン本体購入時の設定では、「InterVideo WinDVD」が起動すると、パソコン本体内蔵のドライブにセットされたDVD-Videoを再生します。パソコン本体内蔵のドライブにDVD-Videoがセットされていない場合は、本製品にセットされたDVD-Videoを再生します。

「InterVideo WinDVD」起動時に、本製品にセットされたDVD-Videoを再生したい場合は、あらかじめ次の方法で設定を変更してください。

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [InterVideo WinDVD] → [InterVideo WinDVD] をクリックする
[InterVideo WinDVD] が起動します。
- ② 画面上を右クリックし、表示されたメニューから [セットアップ] をクリックする
[セットアップ] 画面が表示されます。
- ③ [プリファレンス] タブの [ソース設定] で、[ソース] の  ボタンをクリックする
- ④ [E:] (標準値) を選択し、[OK] ボタンをクリックする

1 DVD-Video をセットする

アプリケーションを選択する画面が表示されます。

 参照 DVDのセットについて『DynaBook 基本をマスター』


2 [DVD ムービーの再生 InterVideo WinDVD 使用] を選択し、[OK] ボタンをクリックする

「InterVideo WinDVD」が起動します。

「InterVideo WinDVD」の使いかたについては、『DynaBook 応用ガイド』、「InterVideo WinDVD」のヘルプを確認してください。

ヘルプの起動方法

1 WinDVD コントロールパネルの [ヘルプ] ボタン () をクリックする

 参照 「InterVideo WinDVD」の問い合わせ先
『DynaBook 困ったときは』

3 ボタンやリモコンで操作する

Windows が起動しているときに、パソコン本体のオーディオ／アプリケーションボタンやリモコンを使って、本製品にセットした音楽 CD や DVD-Video を操作できます。

あらかじめ、「東芝コントロール」と音楽 CD や DVD-Video を再生するアプリケーションの設定が必要です。




メモ

Windows が起動していないときに、パソコン本体のオーディオ／アプリケーションボタンやリモコンを使って、音楽 CD や DVD-Video を操作したい場合は、パソコン本体内蔵のドライブを使用してください。

参照 『DynaBook 応用ガイド』

1 「東芝コントロール」の設定

「東芝コントロール」で、オーディオ／アプリケーションボタンやリモコンで操作するドライブを選択します。

- 1 [コントロールパネル] を開き、[ プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- 2 [ 東芝コントロール] をクリックする
- 3 [メディアアプリケーション] タブで、[CD / DVD 再生に使用する内蔵のドライブ] の  ボタンをクリックする
CD / DVD 再生に使用することができるドライブの一覧が表示されます。
- 4 [E:] (標準値) を選択して、[OK] ボタンをクリックする

2 「Windows Media Player 8」の設定

「Windows Media Player 8」で音楽 CD を再生するドライブを選択します。再生したいドライブが既に選択されている場合は、変更は必要ありません。

- 1 メニューバーの [再生] → [DVD またはオーディオ CD] で、[Audio CD (E:) -XXXXX] (標準値) をクリックする

「Windows Media Player 8」を終了すると、設定は既定値に戻ります。「Windows Media Player 8」を起動するたびに設定を行ってください。

3 「InterVideo WinDVD 4」の設定

「InterVideo WinDVD 4」で DVD-Video を再生するドライブを選択します。
再生したいドライブが既に選択されている場合は、変更は必要ありません。

1 「InterVideo WinDVD 4」の画面上を右クリックする

2 表示されたメニューから [ソース] → [E:] (標準値) をクリックする

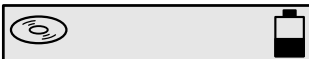
「InterVideo WinDVD 4」を終了すると、設定は既定値に戻ります。
「InterVideo WinDVD 4」を起動するたびに設定を行ってください。


4 オーディオ／アプリケーションボタンやリモコンで操作する

「東芝コントロール」と音楽 CD や DVD-Video を再生するアプリケーションの設定を行うと、パソコン本体のオーディオ／アプリケーションボタンやリモコンで操作できます。

1 モードパネルに CD / DVD 再生アイコン () が表示されていることを確認する

CD / DVD 再生アイコンが表示されていない場合は、表示されるまで、モード切替ボタンを何度か押してください。



 参照 モードパネル、モード切替ボタンについて『DynaBook 応用ガイド』

2 オーディオ／アプリケーションボタンやリモコンで操作する

オーディオ／アプリケーションボタン、リモコンについて詳しくは、『DynaBook 応用ガイド』を確認してください。

6 音楽CDやデータCD／DVDを作る

ドラッグン ドロップ シーディー

「Drag'n Drop CD」は、CD-RW、CD-R、DVD-RW、DVD-R にデータを書き込むことができるアプリケーションです。

ここでは、オリジナルの音楽CDやデータのバックアップCD／DVDを作成する手順について説明します。

1 Drag'n Drop CD を使うために

お願い 書き込む前に

CD-RW、CD-R、DVD-RW、DVD-Rに書き込みを行うときは、「Drag'n Drop CD」を使用してください。Windows標準のライティング機能や市販のライティングソフトは、使用しないでください。

「Drag'n Drop CD」は、パソコン本体購入時にはインストールされていません。パソコン本体および本製品に添付されている「Drag'n Drop CD」のバージョン情報を確認のうえ、新しい方をインストールしてから使用してください。

▶参照 「Drag'n Drop CD」のインストールについて
「本項 1 Drag'n Drop CDのインストール」

CD／DVDに書き込みを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

- CD-RW、CD-Rに書き込む際には、それぞれの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。DVD-RW、DVD-Rに書き込む際には、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカーのメディアを使用してください。

▶参照 CD／DVDについて「4-1 CD／DVDについて」







- 本製品に添付の「Drag'n Drop CD」以外のCD-RW、CD-R、DVD-RW、DVD-R書き込み用ソフトウェアは動作保証していません。
- 書き込み済みのCD-RW、DVD-RWに書き込みを行う場合は、「Drag'n Drop CD」などで消去する必要があります。消去方法については、「Drag'n Drop CD」のヘルプを確認してください。

▶参照 「Drag'n Drop CD」のヘルプ「本節 2-2- ヘルプの起動方法」


- バッテリー駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリーの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを電源コンセントに接続してください。

- 書き込み用ソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
- スクリーンセーバなど CPU に負担のかかるソフトウェアは動作しないように設定してください。
- ウイルスチェックソフトを起動している場合は、終了させてください。
- モデムなど、通信アプリケーションを起動している場合は、終了させてください。
- 書き込みを行う際は、パソコン本体の省電力機能が働かないようにしてください。

参照▶ 省電力機能について『DynaBook 応用ガイド』


- 常駐型のディスクユーティリティやディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、動作の不安定やデータの破損の原因となりますので使用しないことを推奨します。
- SD メモリカード、フロッピーディスク、PC カードタイプのハードディスクドライブ、USB 接続のハードディスクドライブなど、パソコン本体のハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込む際は、データをいったんパソコン本体のハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- LAN を経由する場合は、データをいったんパソコン本体のハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- 著作権保護されている DVD-Video を「Drag'n Drop CD」の [DISC Backup BOX] () を使用してバックアップを作成しても、作成されたメディアで映像を再生することはできません。
- 「Drag'n Drop CD」の [DISC Backup BOX] ()、[Data BOX] () を使用して DVD-RAM にバックアップを作成することはできません。
- 「Drag'n Drop CD」の [DISC Backup BOX] () を使用して CD-ROM、CD-R、CD-RW から DVD-R、DVD-RW にバックアップを作成することはできません。
- 「Drag'n Drop CD」の [DISC Backup BOX] () を使用して DVD-ROM、DVD-Video、DVD-R、DVD-RW から CD-R、CD-RW へバックアップを作成することはできません。
- 「Drag'n Drop CD」の [DISC Backup BOX] () を使用して、他のソフトウェアや、家庭用 DVD ビデオレコーダで作成した DVD-R、DVD-RW のバックアップを作成できないことがあります。


お願い 書き込み／削除を行うにあたって

- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開くなど、パソコン本体の操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
PCカード、USB 対応機器、CRT ディスプレイ、i.LINK 対応機器、光デジタル対応機器、SD メモリカード
- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- オーディオ／アプリケーションボタンやリモコンを使用して音楽／音声の再生を行わないでください。
- 本製品に付属している「Drag'n Drop CD」を使用して DVD-Video、DVD-Audio を作成することはできません。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。
- 「Drag'n Drop CD」の [Music BOX] () を使用して、DVD-RW、DVD-R に音楽情報を書き込むことはできません。
- 「Drag'n Drop CD」で、重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行ってください。正常に書き込まれていることを確認できます。
 - ① [Data BOX] を右クリックし、[オプション] をクリックする
[E: (DATA DISC) の設定] (標準値) 画面が表示されます。
 - ② [書き込み設定] タブの [書き込み手順] で、[書き込み後ベリファイ] をチェックする
 - ③ [詳細ベリファイ] をクリックする
 - ④ [OK] ボタンをクリックする

メモ

「Drag'n Drop CD」では、DVD-RAMにバックアップすることができません。DVD-RAMにデータを書き込む場合は、[マイコンピュータ] で目的のファイルやフォルダを本製品にコピーしてください。

 **参照** DVD-RAM について「4-② DVD-RAM を使うときは」

 **参照** ファイルやフォルダのコピー『DynaBook 基本をマスター』

1 Drag'n Drop CDのインストール

「Drag'n Drop CD」は、パソコン本体購入時にはインストールされていません。パソコン本体および本製品に添付されている「Drag'n Drop CD」のバージョン情報を確認のうえ、新しい方をインストールしてください。

既にインストールしている「Drag'n Drop CD」のバージョンの方が古い場合は、アンインストールしてください。その後、新しいバージョンの「Drag'n Drop CD」をインストールしてください。

 参照 ▶ アンインストール方法「本項 1- アンインストール方法」

バージョン情報の確認方法

バージョン番号が大きい方が新しい方です。バージョン番号が同じ場合、ビルド番号が大きい方が新しい方です。

【パソコン上で確認する場合】


- ① 通知領域の [Drag'n Drop CD] アイコンを右クリックする
- ② 表示されたメニューから [Drag'n Drop CDのバージョン情報] をクリックする
- ③ バージョン番号 (Version) およびビルド番号 (Build) を確認する

【CDで確認する場合】

「Drag'n Drop CD」のCDに印刷されているバージョン番号 (Version) およびビルド番号 (Build) を確認してください。

お願い インストール/アンインストールについて

- アプリケーションのインストールやアンインストールは、アカウントがコンピュータの管理者のユーザで行ってください。
- アプリケーションのインストールやアンインストールを行う前に、必ずデータを保存し、その他のアプリケーションを終了させてください。終了せずに、インストールやアンインストールを行うと、データが消失するおそれがあります。

 参照 ▶ アプリケーションのインストールやアンインストール
『DynaBook 応用ガイド』

インストール方法

1 添付のCDをセットする

〔設定言語の選択〕画面が表示されます。

 参照 CDのセット『DynaBook 基本をマスター』

2 〔日本語〕が選択されていることを確認し、〔OK〕ボタンをクリックする

〔Drag'n Drop CD セットアップ〕画面が表示されます。

3 画面の指示に従って「Drag'n Drop CD」をインストールする

4 再起動する

アンインストール方法

1 〔コントロールパネル〕を開き、 プログラムの追加と削除〕をクリックする

2 現在インストールされているプログラムの一覧から、〔Drag'n Drop CD〕を選択する

3 〔変更と削除〕ボタンをクリックする

表示されるメッセージに従って操作してください。

再起動をうながすメッセージが表示されたら、「はい、今すぐコンピュータを再起動します」をチェックし、〔完了〕ボタンをクリックしてください。

2 Drag'n Drop CDを使う

インストールされた「Drag'n Drop CD」は、自動的に起動しデスクトップ上にアイコンが表示されます。

「Drag'n Drop CD」を終了させた場合は、次の手順で起動してください。

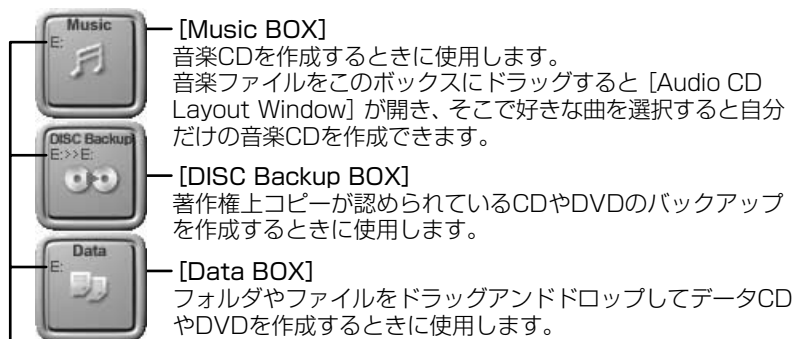
1 起動方法

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [Drag'n Drop CD] → [Drag'n Drop CD] をクリックする

デスクトップ上に、アイコンが表示されます。

2 Drag'n Drop CDの基本操作

デスクトップに表示されるアイコンは、次のような役割をもっています。



対応するドライブを示します。

パソコン本体に内蔵されているドライブ..... D:
本製品..... E: (標準値)

「Drag'n Drop CD」は、パケットライト形式での記録機能は備えていません。

CDに保存されているMP3方式またはWAVE方式の音楽ファイルを使用して音楽CDを作成する場合は、CDから直接 [Music BOX] にドラッグできません。1度ハードディスクに保存してから音楽CDを作成してください。

参照 → 音楽CDの作成方法『DynaBook 応用ガイド』

参照 → データCD / DVDの作成方法『DynaBook 困ったときは』

ヘルプの起動方法

「Drag'n Drop CD」の詳しい情報は、ヘルプを確認してください。

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [Drag'n Drop CD] → [Drag'n Drop CDのヘルプ] をクリックする

「Drag'n Drop CD」のヘルプが表示されます。

アプリケーションの問い合わせ先

「Drag'n Drop CD」の問い合わせ先は、次のとおりです（2002年11月現在）。

ESJカスタマーセンター

オンラインサポートアドレス：<http://www.easy.co.jp/dd2/toshiba/tosupport.html>

受付時間：オンラインにて24時間受付

- ※ 17時30分まで受付分を当日回答、以降は翌営業日に回答
(回答は、土・日・祝日ならびに会社休業日を除きます)

7 映像を編集する

1 映像編集の流れ

本製品には、映像を編集することができるアプリケーション「MotionDV STUDIO」モーションディーバイ スタジオ「DVDfunSTUDIO」ディーブイディーファンスタジオ「DVD-MovieAlbum」ディーブイディームービーアルバムが用意されています。また、「DVDfunSTUDIO」を使ってDVD-Video形式の、「DVD-MovieAlbum」を使ってDVD-VR形式の映像DVDを作成することができます。

映像を編集する流れは、次のとおりです。

準備をする

映像データの編集、映像データをDVDへ書き込むアプリケーションは、パソコン本体購入時にはインストールされていません。まず初めにアプリケーションをインストールします。

▶ 参照 「本節 ② アプリケーションをインストールする」



映像をパソコンに取り込む

デジタルビデオカメラを接続し、映像データをパソコンに取り込みます。

▶ 参照 「本節 ③ 映像を編集する」



映像を編集する

映像データの編集は「MotionDV STUDIO」で行います。

▶ 参照 「本節 ③ 映像を編集する」



DVDに書き込む

DVD-RW、DVD-Rに書き込む際は、「DVDfunSTUDIO」、DVD-RAMに書き込む際は「DVD-MovieAlbum」を使用します。

▶ 参照 「本節 ④-1 DVDに書き込む」

2 アプリケーションをインストールする

「MotionDV STUDIO」「DVDfunSTUDIO」「DVD-MovieAlbum」は、パソコン本体購入時にはインストールされていません。

パソコン本体に同アプリケーションが添付されている場合は、パソコンおよび本製品に添付されている CD のバージョン情報を確認のうえ、新しい方をインストールしてください。

既にインストールしているアプリケーションのバージョンの方が古い場合は、アンインストールしてください。その後、新しいバージョンのアプリケーションを CD からインストールしてください。

 参照 アンインストール方法「本項 4 アンインストール方法」

バージョン情報の確認方法

バージョン番号が大きい方が新しい方です。

【パソコン上で確認する場合】

● MotionDV STUDIO

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [Panasonic] → [MotionDV STUDIO] → [MotionDV STUDIO] をクリックする
- ② メニューバーの [ヘルプ] → [バージョン情報] をクリックする
- ③ バージョン番号 (Ver.) を確認する

● DVDfunSTUDIO

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [Panasonic] → [DVDfunSTUDIO] → [DVDfunSTUDIO] をクリックする
- ② [環境設定] をクリックし、[バージョン情報] をクリックする
- ③ バージョン番号 (V) を確認する

● DVD-MovieAlbum


- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [Panasonic] → [DVD-MovieAlbumSE] → [DVD-MovieAlbumSE] をクリックする
- ② [ヘルプ] ボタンをクリックし、[DVD-MovieAlbum のバージョン情報] をクリックする
- ③ バージョン番号 (Version) を確認する

【CDで確認する場合】

- ① CD をパソコン本体内蔵のドライブにセットする
「Internet Explorer」が起動し、[松下ビデオ編集アプリケーション] 画面が表示されます。
- ② [スタート] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする
[ファイルを開く] 画面が表示されます。
- ③ [開く] に「D:¥Readme.txt」と入力する
または、[参照] ボタンをクリックし、[ファイルの種類] で [すべてのファイル] を選択し、[Readme] を選択して [開く] をクリックしてください。
- ④ [OK] ボタンをクリックする
[Readme- メモ帳] 画面が表示されます。
- ⑤ 各アプリケーションのバージョン番号を確認する

お願い インストール／アンインストールについて

- 「MotionDV STUDIO」「DVDfunSTUDIO」「DVD-MovieAlbum」のインストールは、パソコン本体に内蔵されているドライブにCDをセットして行ってください。
- アプリケーションのインストールやアンインストールは、アカウントがコンピュータの管理者のユーザで行ってください。
- アプリケーションのインストールやアンインストールを行う前に、必ずデータを保存し、その他のアプリケーションを終了させてください。終了せずに、インストールやアンインストールを行うと、データが消失するおそれがあります。

 **参照** アプリケーションのインストールやアンインストール
『DynaBook 応用ガイド』

1 MotionDV STUDIOのインストール方法

- 1 「MotionDV STUDIO」と記載されているCDをパソコン本体内蔵のドライブにセットする

参照 → CDのセット『DynaBook 基本をマスター』

- 2 画面の指示に従って「MotionDV STUDIO」をインストールする

2 DVDfunSTUDIOのインストール方法

- 1 「DVDfunSTUDIO」と記載されているCDをパソコン本体内蔵のドライブにセットする

参照 → CDのセット『DynaBook 基本をマスター』

- 2 画面の指示に従って「DVDfunSTUDIO」をインストールする

3 DVD-MovieAlbumのインストール方法


- 1 「DVD-MovieAlbum」と記載されているCDをパソコン本体内蔵のドライブにセットする

参照 → CDのセット『DynaBook 基本をマスター』

- 2 画面の指示に従って「DVD-MovieAlbum」をインストールする

4 アンインストール方法

アプリケーションの削除は1つずつ行います。削除するアプリケーションが複数ある場合は、手順1～3を繰り返し行ってください。

- 1 [コントロールパネル]を開き、[ プログラムの追加と削除]をクリックする
- 2 現在インストールされているプログラムの一覧から、削除するアプリケーションを選択する
- 3 [変更と削除] ボタンをクリックする

表示されるメッセージに従って操作してください。

再起動をうながすメッセージが表示されたら、「はい、今すぐコンピュータを再起動します」をチェックし、[完了] ボタンをクリックしてください。

3 映像を編集する

「MotionDV STUDIO」を使うと、デジタルビデオカメラなどの映像を編集できます。デジタルビデオカメラをi.LINK (IEEE1394) コネクタに接続して、撮影した映像をパソコンに取り込みます。特殊効果やタイトル、BGMなどをつけて編集し、さまざまな形式で保存できます。

詳細については、『DynaBook 応用ガイド』、「MotionDV STUDIO」のヘルプを確認してください。

お願い 映像データの編集について

- WinDVD など映像を表示するアプリケーションが動作していると、編集中のプレビューが正しく表示できない場合があります。編集中は他のアプリケーションを終了してください。
- 編集中のプレビューは内部液晶ディスプレイにのみ表示されます。本体に外部ディスプレイを接続している場合、外部ディスプレイには表示されません。
- 著作権保護された映像が保存されている DVD-RW、DVD-R の映像の編集は「MotionDV STUDIO」では行えません。
- 「DVD-MovieAlbum」では著作権保護されているコンテンツは再生できません。検出した時点で、再生を中止します。
- 「MotionDV STUDIO」動作中は、画面の解像度・色数の変更は行わないでください。

MotionDV STUDIO のヘルプの起動方法

1 「MotionDV STUDIO」を起動後、メニューバーから【ヘルプ】→【ヘルプ】をクリックする

ヘルプを起動すると「Acrobat Reader」が起動し、PDF マニュアルが表示されます。

参照 → 「MotionDV STUDIO」の問い合わせ先
「本節 4-1- アプリケーションの問い合わせ先」

4 編集した映像を書き込む

編集した映像データを DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R に書き込み、オリジナル DVD を作成することができます。

「MotionDV STUDIO」で編集したデータを DVD-RW や DVD-R に書き込むには、「DVDfunSTUDIO」、DVD-RAM に書き込むには「DVD-MovieAlbum」が必要です。あらかじめそれぞれのアプリケーションをインストールして使用してください。

お願い 編集した映像データを書き込む前に

編集した映像データを書き込む場合は、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R に書き込みを行う際には、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカーのメディアを使用してください。なお、再生する機器に応じて、その機器の取扱説明書でも推奨されているメディアを使用してください。

参照 → DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R について

「4-① CD / DVD について」

- 「DVDfunSTUDIO」では、8cm (3.15") の DVD-RW、DVD-R への書き込みはできません。
- 「DVDfunSTUDIO」では、DVD-RW、DVD-R に VR フォーマットでの書き込みはできません。
- 「DVDfunSTUDIO」では、書き込みが可能な DVD-RW、DVD-R へ最大約 3 時間の映像データを DVD ビデオフォーマットで記録できます。
- 「DVDfunSTUDIO」では、DVD-Audio や Video CD、miniDVD を作成することはできません。
- 「DVDfunSTUDIO」では、DVD-RAM をサポートしていないため、DVD-RAM に DVD-Video 形式のデータを書き込むことはできません。また、DVD-RAM をドライブにセットした状態で動作させると正しく処理ができない場合があります。
- 「DVDfunSTUDIO」で DVD-RW、DVD-R へ書き込みを行うには、ハードディスクに 20GB 以上の空き容量が必要です。あらかじめハードディスクの空き容量を確認してください。

- 書き込み済みの DVD-RW に書き込みを行う場合は、「Drag'n Drop CD」などで消去する必要があります。消去方法については、「Drag'n Drop CD」のヘルプを確認してください。

参照 → 「Drag'n Drop CD」のヘルプ「6-② Drag'n Drop CDを使う」

- 「DVD-MovieAlbum」で DVD-RAM へ書き込むには、あらかじめフォーマットツールで UDF2.0 のフォーマットをしておく必要があります。

参照 → DVD-RAM のフォーマット「4-② DVD-RAM を使うときは」

- 「DVD-MovieAlbum」で PAL 形式の映像を保存した DVD-RAM には、PAL 形式の映像しか追記できません。また、NTSC 形式の映像を保存した DVD-RAM には、NTSC 形式の映像しか追記できません。
- 「DVD-MovieAlbum」で PAL 形式で DVD-RAM に保存された映像は NTSC 形式に変換できません。また、NTSC 形式で DVD-RAM に保存された映像は、PAL 形式に変換できません。
- DVD-RAM で VR フォーマットした場合、次の機能は使用できません。
マルチストーリー マルチアングル マルチアスペクト比
マルチランゲージ パレンタルロック リージョンコード コピーガード
- ヘルプやオンラインマニュアル上に JPEG ファイルが扱える記述がありますが、実際には使用できません。
- 本製品に添付の「MotionDV STUDIO」「DVDfunSTUDIO」「DVD-MovieAlbum」以外の映像データ書き込み用ソフトウェアは動作保証していません。
- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリーの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ず AC アダプタを電源コンセントに接続してください。
- 「Drag'n Drop CD」などドライブをロックするアプリケーションが常駐している場合は、DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R への書き込みは行えません。「Drag'n Drop CD」は必ず終了させてください。
- スクリーンセーバなど CPU に負担のかかるソフトウェアは動作しないようにしてください。
- ウイルスチェックソフトを起動している場合は、終了させてください。
- モデムなど、通信アプリケーションを起動している場合は、終了させてください。
- 書き込みを行う際は、パソコン本体の省電力機能が働かないようにしてください。

参照 → 省電力機能について『DynaBook 応用ガイド』

- 常駐型のディスクユーティリティやディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、動作の不安定やデータの破損の原因となりますので使用しないことを推奨します。

お願い 書き込み／削除を行うにあたって

- 「DVDfunSTUDIO」でDVD-RW、DVD-Rに映像データを書き込む場合、映像データの大きさによってはデータの変換に数時間かかることがあります。またディスクの書き込み終了までには、さらに数時間かかることがあります。
- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
PCカード、USB対応機器、CRTディスプレイ、i.LINK対応機器、光デジタル対応機器、SDメモ리카ード
- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- オーディオ／アプリケーションボタンやリモコンを使用して音楽／音声の再生を行わないでください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。

お願い 作成した映像データについて

- 作成したDVD-RAM、DVD-RW、DVD-Rは、一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できない場合もあります。
- 作成した映像データを再生する場合は、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。このようなときは、「InterVideo WinDVD」を起動し、再生してください。

1 DVDに書き込む

「MotionDV STUDIO」で編集した映像データを、いったん「DVDfunSTUDIO」
「DVD-MovieAlbum」(VRWriter)へ出力し、その後DVD-RAM、DVD-RW、
DVD-Rへ書き込みを行います。

- 1 映像の編集を終了したあと、TOOL BOXの【出力】アイコンにポインタを合わせ①、【DVD-R/RWへ出力】アイコンまたは【DVD-RAMへ出力】アイコンをクリックする②



【DVD-R/RW出力】画面または【DVD-RAM出力】画面が表示されます。

メモ

ファイルの選択をうながすメッセージが表示された場合は、ワークエリアでファイルを選択してから、再度手順1の操作を行ってください。その際、【DVD-R/RW出力】画面や【DVD-RAM出力】画面が表示されずに、直接「DVDfunSTUDIO」や「VRWriter」が起動する場合があります。

次の画面は [DVD-R/RW 出力] 画面です。
画面の構成は [DVD-RAM 出力] 画面も同じです。

コントロール画面

書き込みをしたい映像を表示して確認することができます。

ライブラリ画面

ハードディスクに保存・登録してあるファイルが表示され、閲覧することができます。ここから読み込みたいファイルをドラッグアンドドロップして指定することもできます。



入出力画面

書き込みたいファイルを指定して名前を付けたりすることができます。

[出力] ボタンをクリックすると、書き込み用のアプリケーションが起動します。

DVD-RW、DVD-R への書き込み用アプリケーションは「DVDfunSTUDIO」、
DVD-RAM への書き込み用アプリケーションは「DVD-MovieAlbum」内の
「VRWriter」ファイナルライターです。

はじめて起動したときは、使用許諾書画面が表示されます。


契約内容を確認のうえ、[同意します] ボタンをクリックしてください。

「DVDfunSTUDIO」が起動したら、本製品に DVD-RW または DVD-R をセットしてください。「VRWriter」が起動したら、本製品に DVD-RAM をセットしてください。


参照 ➡ CD のセット『DynaBook 基本をマスター』

DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R への書き込み方法についての詳細は、
「MotionDV STUDIO」のヘルプ、「DVDfunSTUDIO」のヘルプ、「VRWriter」
のヘルプを確認してください。

DVDfunSTUDIO のヘルプの起動方法


- 1 「DVDfunSTUDIO」を起動後、[ヘルプ] ボタン () をクリックする

ヘルプを起動すると、「Acrobat Reader」が起動し、PDF マニュアルが表示されます。

 参照 「DVDfunSTUDIO」の問い合わせ先
「本項 1- アプリケーションの問い合わせ先」

VRWriter のヘルプの起動方法

- 1 「VRWriter」を起動後、[ヘルプ] ボタン () をクリックする
- 2 表示されたメニューから [VRWriter のマニュアル] をクリックする
ヘルプを起動すると、「Acrobat Reader」が起動し、PDF マニュアルが表示されます。

 参照 「VRWriter」(「DVD-MovieAlbum」) の問い合わせ先
「本項 1- アプリケーションの問い合わせ先」

アプリケーションの問い合わせ先

「MotionDV STUDIO」 「DVDfunSTUDIO」 「DVD-MovieAlbum」 (「VRWriter」) の問い合わせ先は、次のとおりです (2002 年 11 月現在)。

松下電器産業株式会社 AVC 社 お客様ご相談センター

TEL : 0120-878-365 (フリーダイヤル)

受付時間 : 9:00 ~ 20:00 (年中無休)

FAX : 0120-878-236

ホームページ : <http://www.panasonic.co.jp/customer/cn/>

e-mail サポート

: http://www.panasonic.co.jp/avc/home/cgi-bin/avc_cs_a.cgi?03

8 困ったときは

Q CD / DVD にアクセスできない

- A** ディスクトレイがきちんとしまっていない場合は、カチッと音がするまで押し込んでください。


参照 → CD / DVD のセット『DynaBook 基本をマスター』

- A** CD / DVD がきちんとセットされていない場合は、ラベルがついている方を上にして、水平にセットしてください。

- A** ディスクトレイ内に異物がある場合は、取り除いてください。
何かはさまっていると、故障の原因になります。

- A** CD / DVD が汚れている場合は、乾燥した清潔な布で拭いてください。
それでも汚れが落ちなければ、水または中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。

参照 → CD / DVD の手入れ「4-②- CD / DVD の取り扱いと手入れ」

- A** CD / DVD を認識していない可能性があります。
マルチスタイルベイ  LED が点滅している間は、まだ認識されていません。
消灯するまで待つて、もう 1 度アクセスしてください。

Q マルチスタイルベイ LED が消えない

- A** 大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。
LED が消えるまで待つてください。

どうしても消えないときは作業を中断し、**(Ctrl) + (Alt) + (Del)** キーを押して再起動してください。この場合、保存していない作成中のデータは消去されます。
再起動できない場合は、電源スイッチを 5 秒以上押し、電源を切ってから、もう 1 度電源を入れてください。この場合、保存していない作成中のデータは消去されます。

再起動後、同じ操作を行っても、LED が消えない場合は、電源を切り、保守サービスに連絡してください。

Q CD / DVD が取り出せない

- A** パソコン本体の電源が入っていないと、イジェクトボタンを押してもディスクトレイは出てきません。

電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。

参照 → CD / DVD の取り出し『DynaBook 基本をマスター』

Q パソコン本体の電源が入らないため、CD / DVD が取り出せない

- A** ドライブのイジェクトホールを先の細い丈夫なもので押してください。

イジェクトホールは、折れにくいもの（例えばクリップを伸ばしたものなど）で押してください。

折れた破片がパソコン内部に入ると、故障の原因になります。電源が入らないとき以外はこの処置をしないでください。特に、パソコンの動作中は絶対にしないでください。

参照 → イジェクトホール「2 各部の名称」

Q スタンバイ、休止状態にならない

- A** 本製品にセットされた CD / DVD 内のファイルやフォルダを開いたり、エクスプローラを使用しているとスタンバイ、休止状態にならない場合があります。

開いているファイルやフォルダをすべて閉じ、エクスプローラを終了させてください。

Q 異常な臭いや過熱に気づいた！

- A** パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してバッテリーパックをパソコン本体から取りはずしてから購入した販売店または保守サービスに連絡してください。

なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- ・ 使用している機器の名称
- ・ 購入年月日
- ・ 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）



操作できない原因がどうしてもわからない

- A** 本製品のトラブルの場合は、東芝 PC ダイヤルに連絡してください。
なお、連絡の際には次のことを伝えてください。
- ・使用している機器の名称
 - ・購入年月日
 - ・現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）
-
- A** アプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。
- 参照**▶ パソコン本体に添付されているアプリケーションの問い合わせ先
『DynaBook 困ったときは』
 - 参照**▶ 「Drag'n Drop CD」の問い合わせ先
「6-②-2- アプリケーションの問い合わせ先」
 - 参照**▶ 「DVD-MovieAlbum」「DVDfunSTUDIO」「MotionDV STUDIO」
の問い合わせ先「7-④-1- アプリケーションの問い合わせ先」



本製品を廃棄したい

- A** 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。
- 参照**▶ 廃棄について「9 廃棄について」

9 廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。
詳しくは、各地方自治体に問い合わせてください。

(本製品は、プリント基板の製造に使用するはんだに鉛が含まれています)

10 仕様

機種		DVDマルチドライブ
ドライブ機能	CD-ROM	最大24倍速
	CD-R	書き込み：最大16倍速 読み込み：最大24倍速
	CD-RW (マルチスピード)	書き込み：最大4倍速 読み込み：最大12倍速
	High-Speed対応 CD-RW	書き込み：最大8倍速 読み込み：最大12倍速
	DVD-ROM	最大8倍速
	DVD-R	書き込み：等倍速 読み込み：最大4倍速
	DVD-RW	書き込み：等倍速 読み込み：最大4倍速
	DVD-RAM	書き込み：2倍速 読み込み：最大2倍速
		8cm、12cmのCD、DVD対応、マルチセッション
使用環境条件		温度：5℃～35℃ 湿度：20%～80%Rh
外形寸法（突起部除く）		130.2(幅) x 142.1(奥行) x 18.5(高さ)mm
質量		約230g

11 技術基準適合について

松下 DVD-RAM ドライブ UJ-810B (DVD マルチドライブ) 安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。

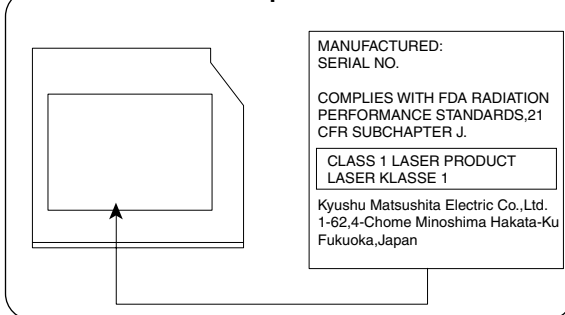
本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
本装置はヨーロッパ共通のレーザー規格 EN60825 で“クラス1レーザー機器”に分類されています。
レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。

2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION	RAYONNEMENT LASER VISIBLE ET INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT	SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG. WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNNGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÅR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLE ÄR FARLIG.
VARO!	NÄKYVÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ÄLTTIINA LASERSÄTEILYLLE, ÄLÄ KATSO SÄTEESEN.

Location of the required label



東芝 PC ダイヤル

技術的なご質問、お問い合わせにお答えいたします。

(お問い合わせの際には「お客様番号」をお伺いしております。
おらかじめ「お客様登録」を行っていただけますようお願い申し上げます。)

ナビダイヤル **0570-00-3100** (サポート料無料)

受付時間 /9:00～19:00 (祝日、12/31～1/3 を除く)

電話番号は、お間違えのないようお確かめの上、おかけいただきますようお願いいたします。
お客様からの電話は全国6箇所(千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市)の
最寄りの拠点に自動的に接続されます。拠点までの電話料金は有料となります。

海外からの電話、携帯電話などで上記電話番号に接続できないお客様、NTT以外とマイライ
ンプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、043-298-8780 で受け付けております。

ご注意：

- ・ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。
これはお客様から全国6箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではあ
りません。
- ・ナビダイヤルでは、NTT以外とマイラインプラスをご契約の場合でも、自動的にNTT回
線を使用することになりますので、あらかじめご了承ください。

東芝 PC FAX 情報サービス

東芝 PC の商品情報、Q&A などを 24 時間お届けします。

043-270-1358

東芝 PC FAX 情報サービスでは音声FAX 応答システムの採用により、パソコンの各種情報
をFAXで提供しております。お手元のFAX (G3モード対応) から電話をおかけになり、音
声案内に従って操作してください。ただし、メンテナンスのため休止させていただくことが
あります。

- ・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
 - ・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
 - ・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
- 東芝 PC ダイヤルにお問い合わせください。

DVD マルチドライブ取扱説明書

2002年11月15日

A1 版発行

MPW1125A

発行 株式会社 **東芝** デジタルメディアネットワーク社

PC 事業部 〒105-8001 東京都港区芝浦 1-1-1

MPW1125A

株式会社 **東芝** デジタルメディアネットワーク社

PC事業部 〒105-8001 東京都港区芝浦 1-1-1

この取扱説明書は再生紙を使用しております。

©2002 TOSHIBA CORPORATION
ALL RIGHTS RESERVED
Printed in Japan